

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

②事業者情報

名称: ケアホームふじのみ	種別: 共同生活援助
代表者氏名: 篠崎 広志	定員(利用人数): 34 (34) 名
〒 359-0027	TEL 04-2946-8512
所在地: 所沢市松郷265-10	

③総評

◇特に評価の高い点

(1) 【グループホームとして目指すもの】

経営理念では、利用者の個性を尊重することを掲げており、グループホームとしては特に力を入れている所です。利用者の自分でやりたいと言う意向を尊重しながら、その発展を促す様に支援を行っています。趣味活動や衣服の好み・理美容・嗜好品等に付いては、利用者の意思と希望や個性を尊重し必要な支援を行っています。生活に関わるルール等に付いては、職員が介入して利用者同士が話し合う機会を設けて決定しています。利用者の権利擁護に関しては、研修等で研鑽を積んでいます。

(2) 【利用者とのコミュニケーション】

言語コミュニケーション以外にも、障害特性に合わせたコミュニケーション手段を使用しています(筆談・ジェスチャー・タブレット等)。又、自傷や他害等の問題行動に付いても意思表示と捉え、利用者の真意を探る支援を行っています。良く聞く事をベースに理解するべく努め、利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解する様、取組んでいます。

(3) 【キャリアパス制度の導入】

法人的行動規範に「期待する職員像等」が明示されています。人事評価制度としてキャリアパス制度を導入しており、職員の専門性や職務遂行能力・職務に関する成果や貢献度等を年3回評価しています。目標項目・目標水準に付いては提案時に項目毎にランク付けされ、評価の際に課題の軽重による不公平が発生しない様、配慮されています。評価面談の際に職員の意向・意見等を確認し、期末面談では評価結果を伝えています。評価結果は夏の賞与に反映されています。

◇特にコメントを要する点

(1) 【中・長期計画】

法人の中期計画とされるイラストで表現された目標は確認出来ますが、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容や数値目標・成果等の設定、又、具体的なPDCAの展開内容等は確認出来ません。中・長期的に施設として目指す方向付けをし、年度毎にどの様に行動して行くのかは質の向上が求められる中では必要な概念であると感じます。

(2) 【プライバシー保護】

ここではプライバシー保護(他人に知られたくない事)と個人情報保護(例として銀行等の登録時に開示した情報が銀行から外に出て貰っては困る内容)と分けて規定されているかの確認が求められています。プライバシー保護規程は策定されていませんが、風呂場での目隠しやパーテーション等の設備的な対応は一部され、プライバシーに配慮されています。プライバシー保護に関し利用者や家族への説明は規程がない為、行っていません。

(3) 【リスクマネジメント】

リスクマネジメントに関する委員会の設置等はされていません。又、危機管理マニュアル等も準備されていません。ヒヤリハットに付いては、報告書の策定はされており要因分析・改善策の策定・対策実施内容の決定等の記入はされていますが、実効性に付いて、定期的に評価・見直し等は行われていません。又、リスクマネジメント研修等も準備されていません。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

総評にてケアホームふじのみが目指している、自己決定・自己選択の尊重・管理性の排除、一人一人の生活スタイルを尊重するという方針と実践が高い評価を得ている点は事業所として嬉しく思う。今後は課題点として挙げられているプライバシー保護に関する利用者・保護者への丁寧な説明を行う事と利用者満足度向上の取組として満足度調査の実施や各棟の利用者ミーティングを実施する事により一層利用者本位のサービス提供に努めていければと思う。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙